

燃料 無鉛レギュラーガソリン



安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に
本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
カラー版のWEB取説
をご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュー
トラルの取組の一環として、紙の取扱説明
書を大幅に削減いたしました。
どうぞご理解ください。



初版

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防
ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす
危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を
負う恐れがある」内容です。

注意 この表示の欄は、「軽傷、物的損害、故
障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明
しています。

禁止 このような絵表示は、してはいけない「禁止」
内容です。




強制 このような絵表示は、必ず実行していただく
「強制」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。



警告（製品に係る安全事項）

禁止	強制
燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。	自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜いてください。振動等により燃料が漏れることがあります。また、ロープ等でしっかり固定してください。
燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでください。	給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。	給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
排ガスがこもる場所では使用しないでください。排気ガス中毒になる危険があります。	燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
本機の周囲を囲ったり、箱等をかぶせて使用しないでください。	給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
雨や雪がかかる所でエンジンをかけないでください。	給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
車載したまま使用しないでください。	燃料タンクキャップは確実に締めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
自動車の車内やトランクにエンジンを載せたまま車両を放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。	運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
エンジンが熱いうちは、給油しないでください。	点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。	使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。



⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	<p>運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。</p>	 禁止	<p>ガラスや粉碎されやすい物に向けて噴射しないでください。粉碎され、飛び散る恐れがあり、非常に危険です。</p>	
	<p>換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。</p>		<p>ノズルをのぞき込まないでください。</p>	
	<p>エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。</p>		<p>ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。</p>	
	<p>改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。</p>		 強制	<p>エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。</p>
	<p>正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。</p>			<p>点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。</p>
	<p>未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。</p>			<p>点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。</p>
	<p>成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、自己判断での使用をしないでください。</p>			<p>点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部の温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。</p>
	<p>運転中は点検整備を行わないでください。事故の恐れがあります。</p>			<p>エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。</p>
	<p>ガソリンや燃料油などの引火性液体を吸い込まないでください。火災や爆発を起こし、重傷を負う危険性があります。</p>			<p>周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。</p>
	<p>トリガーを引くと、高圧の水が勢いよく噴射されます。絶対に、人や動物に向けて、噴射しないでください。</p>			<p>運転前点検を実施してください。</p>
<p>トリガーを引いた状態で固定しないでください。不意に高圧の水が噴射される場合があります。</p>				




⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	<p>本機は、清水を高圧で噴射させることを目的に作られています。他の用途での使用は想定されていません。絶対に、目的外では使用しないでください。</p>	 強制	<p>燃料は無鉛レギュラーガソリンを使用してください。</p>
	<p>水以外は吸水しないでください。</p>		<p>水平で安定した場所に設置してください。</p>
	<p>泥水の吸水はしないでください。</p>		<p>ホースやノズルは必ずしっかり固定してください。噴き出す水の勢いで外れると大変危険です。</p>
	<p>海水、飲料、酸、化学溶液、又は腐食を促進するその他の液体を吸い込まないでください。故障の原因になります。</p>		<p>使用場所によっては、泥や砂利、石などが飛び跳ねることがあります。目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。</p>
	<p>電子機器や水濡れ厳禁の場所には、絶対に使用しないでください。</p>		<p>ご使用時は、本機を建物や他の機器から少なくとも1m(3ft)離れた所でお使いください。エンジンがオーバーヒートする可能性があります。</p>
	<p>温度が5℃以下の場所では、使用しないでください。</p>		<p>シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。</p>
	<p>エンジン始動中は、5分以上噴射を停止しないでください。</p>		<p>定期点検整備を行ってください。</p>
	<p>長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。</p>		



⚠️ 注意（製品に係る安全事項）

 強制	給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。	 強制	冬季保管時は、必ずホース・ポンプ内の水を全て抜いてください。内部に水分が残っていると、凍結し故障する恐れがあります。
	部品交換は、純正部品を使用してください。		子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
	本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。		

⚠️ 警告（作業に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類を飲用、または薬物を服用しているときは、使用しないでください。	 禁止	エンジン始動中は、高圧ホース・吸水ホースを外さないでください。
	動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。		30秒以上の空運転はしないでください。ポンプの故障の原因となります。
	ご使用時は、使用者から12m以内は危険ですので、人や動物が入らないようにしてください。	 強制	適切な間隔で休憩をとってください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。

⚠️ 注意（作業に係る安全事項）

 禁止	機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	 強制	長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。		長い髪は束ねて、帽子やヘルメットでカバーしてください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

■ HG-DGPW1908



■ HG-DGPW2109



梱包部品一覧

モデル名	HG-DGPW1908	HG-DGPW2109
		
定格圧力	19.3MPa	21.4MPa
定格吸水量	8.7L/min	9.5L/min
ポンプ	3連プランジャ	
エンジン形式	空冷4ストローク単気筒OHV	
総排気量	173cm ³	212cm ³
馬力	4.8HP	6HP
最大出力	3.5kW	4.2kW
始動方式	リコイルスターター	
燃料	無鉛レギュラーガソリン	
燃料タンク容量	1.2L	3.6L
エンジンオイル	SAE10W-30	
エンジンオイル容量	0.5L	0.6L
燃料消費(※1)	45-55分	110-130分
洗剤タンク容量	1.6L	
騒音レベル	105dB	
互換点火プラグ	BPR7ES (NGK)	

※1 連続運転時間は、使用する状況によって大きく異なります。

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

HG-DGPW1908



HG-DGPW2109



共通

<p>C. ノズル (ロング)</p> <p>480mm</p>	<p>L. ノズルチップ</p>		
<p>D. ノズル (ショート)</p> <p>230mm</p>	<p>M. ノズルホルダ (下部)</p>	<p>N. ノズルホルダ (上部)</p>	
<p>E. ガン</p>		<p>O. ノズルフック</p>	<p>P. ホースホルダ</p>
<p>F. 吸水ホース、ストレーナ</p> <p>吸水ホース長さ：約 3m ストレーナホース取付口径：Φ 14mm</p>	<p>G. 高圧ホース 長さ：約 9.2m</p> <p>3/8 メス：外径 28mm、内径 15mm</p> <p>3/8 オス：外径 14.9mm、長さ 23mm</p>	<p>K. プラスドライバー</p> <p>Q. プラグレンチ</p>	
<p>H. ゴム脚</p>	<p>I. ホースバンド予備</p>	<p>J. ノズルクリーナーピン</p>	

※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

組立て

⚠️ 注意

- 取扱説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- 作業は、自身や周囲の確認をしながら安全に行ってください。
- 組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- 指を挟まないようご注意ください。
- 平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。
- ノズルチップ、ノズル、ガン、ホースの接続は確実に行ってください。取付けが不十分の場合、思わぬ事故の原因になります。

ハンドルの取付け

本体にハンドルを取付けます。

写真は以下HG-DGPW1908を使用。HG-DGPW2109も同様です。

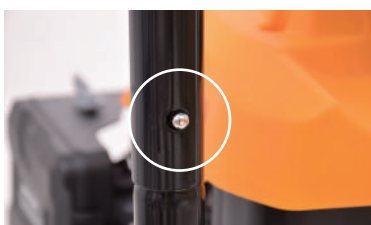
- 1 本体のパイプにハンドルのパイプをはめます。



ハンドル



- 2 本体側パイプのロックピンを指で押し込みながら、ハンドルパイプの穴に入れます。



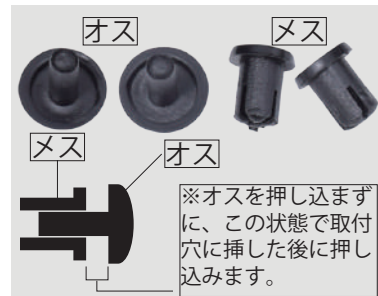
ノズルホルダの取付け

ハンドルフレームと本体フレームにノズルホルダを取付けます。

- 1 ハンドルフレームの取付穴にノズルホルダ（上部）の穴の位置を合わせます。



- 2 プッシュリベットのオス側をメス側に入れ、取付穴に挿し、押し込みます。



- 3 本体下部フレームの取付穴にノズルホルダ（下部）を取付けます。



- 4 六角ボルトを外側から通し、内側から平ワッシャ、ナットを取付け、10mmのスパナでナットを固定しながら、ボルトを4mmの六角レンチで締付けます。
※締めすぎにご注意ください。



ノズルフックの取付け

ハンドルフレームにノズルフックを取付けます。

- 1 ハンドルフレームの取付穴にノズルフックのネジ部を通します。



- 2 平ワッシャを通し、蝶ナットで固定します。



ゴム脚の取付け

本体フレーム下部にゴム脚を取付けます。

- 1 本体フレーム下部の取付穴にゴム脚のネジ部を通します。



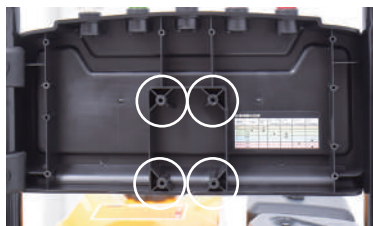
- 2 ナットを取付け、13mm のスパナで締付けます。



ホースホルダの取付け

ハンドルフェイス部にホースホルダを取付けます。

- 1 ハンドルフェイス裏側の取付穴とホースホルダの穴を合わせます。



- 2 4カ所の穴にネジを挿込み、プラスのドライバーで締付けます。
※締めすぎにご注意ください。



- 3 ホースを引っ掛けます。



ノズルチップの収納

本体ハンドル部にノズルチップを収納することが出来ます。

- 1 ノズルチップの収納箇所は予め決まっています。



- 2 左から「赤、黄、黒、緑、白」の順番でノズルチップを挿込みます。



ノズルの取付け

ガンにノズルを取付けます。



- 1** ガン先端のジョイント部
リングを指で下げます。



- 2** ノズルのジョイント(オス)
を挿込みリングを戻します。



- 3** 引張り抜けがないか必ず
確認してください。



高圧ホースの取付け

ガンに高圧ホースを取付けます。



- 1** 高圧ホース先端のジョ
イント部リングを指で
下げます。



- 2** ガンのジョイント(オス)
を挿込みリングを戻し
ます。



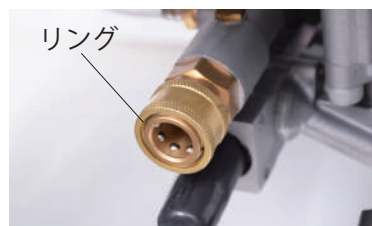
- 3** 引張り抜けがないか必ず
確認してください。



■ HG-DGPW1908 の場合

本体ポンプ側に高圧ホースを取付けます。

- 1** ポンプ側の高圧ホース
取付ジョイント部リング
を指で下げます。



- 2** 高圧ホースのジョイント
(オス)を挿込みリング
を戻します。



- 3** 高圧ホースジョイント部を引張り抜けがないか必ず確認し
てください。

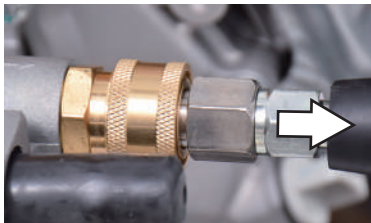
■ HG-DGPW2109 の場合

本体ポンプ側に高圧ホースを取付けます。

- 1 ポンプ側の高圧ホース取付ジョイント部リングを指で下げます。



- 2 高圧ホースのジョイント(オス)を挿込みリングに戻します。



- 3 高圧ホースジョイント部を引張って、抜けないか必ず確認してください。

吸水ホースの取付け

吸水ホースを本体ポンプ側に取付けます。

17mm のスパナをご用意ください。

ワンタッチコネクタ



- 1 吸水ホースワンタッチコネクタ部リングを指で下げます。



■ HG-DGPW1908 の場合

- 1 ポンプ側の吸水ホース取付け部に吸水ホースワンタッチコネクタ部を挿込みます。

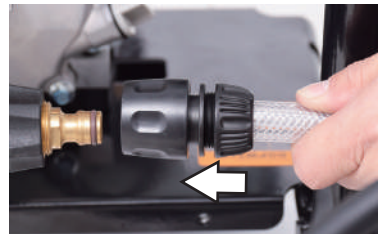


- 2 「カチッ!」と音がするまでしっかり挿込みます。

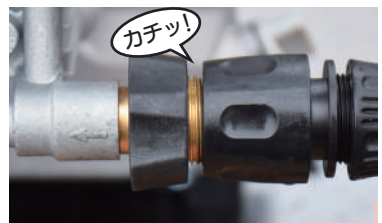


■ HG-DGPW2109 の場合

- 1 ポンプ側の吸水ホース取付け部に吸水ホースワンタッチコネクタ部を挿込みます。

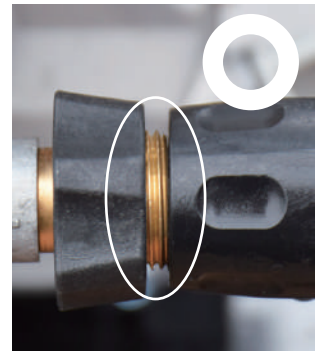
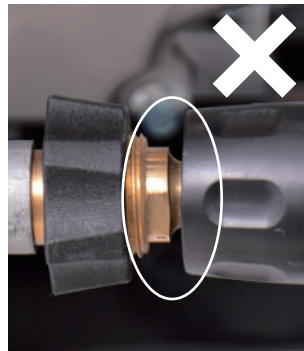


- 2 「カチッ!」と音がするまでしっかり挿込みます。



⚠ 注意

吸水ホースをしっかり挿込まないと、隙間から空気が入り込み高圧水が出ません。



金属吸水コネクタの取外し

ポンプ側の吸水ホース取付け部の内部は、定期的に掃除をするために、金属吸水コネクタを取外すことができます。

■ HG-DGPW1908 の場合

- 1 掃除をするには、ノブを押さえながら、金属吸水コネクタを17mmのスパナで取外して、金網フィルタを掃除します。





※定期的にお掃除をしてください

- 2** 掃除が終わったら、ノブを押さえながら、金属吸水コネクタを 17mm のスパナで締付けます。

■ HG-DGPW2109 の場合

- 1** 掃除をするには、ノブを押さえながら、金属吸水コネクタを 17mm のスパナで取外して、掃除します。



※定期的にお掃除をしてください

- 2** 掃除が終わったら、ノブを押さえながら、金属吸水コネクタを 17mm のスパナで締付けます。

ノズルチップの取付け

噴霧管に用途に合ったノズルチップを取付けます。



⚠ 警告

ノズルチップの取付け、交換は、必ずエンジンを停止してから行ってください。

- 1** ノズル先端部を引きま
す。



- 2** ノズルチップを挿込み
ます。



- 3** 先端部を戻しロックし
ます。



- 4** ノズルチップを引張って、抜けないか必ず確認してくだ
さい。

⚠ 警告

ノズルチップは奥までしっかり挿込み、確実にロック
してください。取付けが不十分な場合、ノズルチップ
が吹き飛び大変危険です。

■ ノズルチップの用途目安

赤	黄	緑	白	黒
0°	15°	25°	40°	Soap
ピンポイントで洗浄する場合	狭い範囲の激しい汚れを洗浄する場合	広範囲の激しい汚れを洗浄する場合	通常の汚れを洗浄する場合	洗剤を使用する場合

運転前の点検

警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



指示

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



指示

- ・燃料給油キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。

下記要領で給油してください。

必ず給油してください。また、工場ですり運転をしているため、若干オイルが内部に残っている場合がありますので、給油の際は、こまめにオイルゲージで確認しながら給油してください。

- 1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油SAE10W-30 ・寒冷地はSAE5W-30	
オイル容量	HG-DGPW1908	0.5L
	HG-DGPW2109	0.6L

注意

- ・エンジンオイルを規定量以上に給油しないでください。エンジン不調になる恐れがあります。
- ・こぼれたオイルは必ず拭き取ってください。

- 2 本体を水平な場所に移動させ、オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。

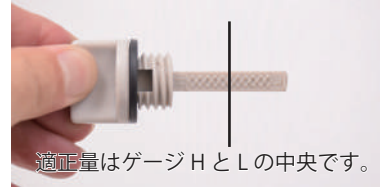


- 3 オイル給油キャップを取付け一旦締付け、再度外します。

- 4 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



HG-DGPW2109



- 5 オイル量が少ないときは、新しいオイルを補給します。
- 6 給油が終わったらオイル給油キャップを「カチッ!」と音がるまでしっかり締めます。

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。

下記要領で給油してください。

- 1 燃料を準備します。

使用燃料	無鉛レギュラーガソリン	
タンク容量	HG-DGPW1908	1.2L
	HG-DGPW2109	3.6L

- 2 燃料給油キャップを開け、液面を見ながら少しずつこぼさないように給油します。
HG-DGPW2109 は上限(赤い目印)を超えないように給油します。
※上部ギリギリまで給油しないでください。

HG-DGPW1908



HG-DGPW1908



HG-DGPW2109



HG-DGPW2109



赤い目印

- 3** 給油が終わったら燃料給油キャップをしっかりと閉めます。

エアクリーナーの点検

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがあるときは清掃を行ってください。

■ HG-DGPW1908 の場合

- 1** エアクリーナーカバー
右側のベロを引き、カ
バーを取外します。



- 2** 汚れを確認します。



- 3** 汚れがある場合はエア
フィルタを取外し、汚
れをエアブロー等で吹
き飛ばします。汚れが
ひどい場合は、エアフ
ィルタの交換が必要に
なります。



- 4** エアクリーナーカバー
の取付けは、左側のツ
メを先に引掛けてから
右側のベロを押し込み
ます。



■ HG-DGPW2109 の場合

- 1** エアクリーナーカバー
のナットを外し、カバ
ーを取外します。



- 2** 汚れを確認します。



- 3** 汚れがある場合は、蝶
ナットを外し、エアフ
ィルタを取外します。



- 4** エアフィルタの汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になり
ます。

- 5** 取付けは取外しと逆の手順で行います。

運転操作の仕方

警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



指示

- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。

下記要領で給油してください。

水道から直接給水する場合は、蛇口を開けないでください。水圧がかかり、リコイルが重くなり引けなくなります。

■ HG-DGPW1908 の場合

- 1** エンジンが冷えているときは、チョークつまみを右いっぱい(閉)にします。



- 2** エンジンスイッチを「ON (|)」にします。



- 3** リコイルスターターを重くなる所までゆっくり引き、そこからすばやく引張ります。エンジンがかかったらグリップをゆっくり戻します。



注意

- リコイルスターターロープをロープの長さ以上引出さないでください。
- 一度に6回以上は引張らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- 運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。

- 4** エンジンを始動後暖気運転を行い、運転状況を確認します。

- 5** チョークつまみを使用した場合は、チョークつまみを左(開)に戻します。



■ HG-DGPW2109 の場合

水道から直接給水する場合は、蛇口を開けないでください。水圧がかかりリコイルが重くなり引けなくなります。

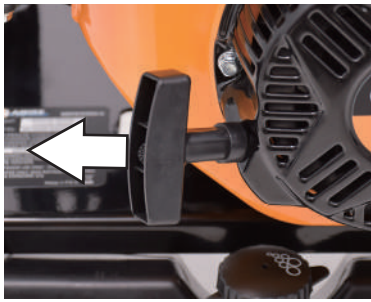
- 1** エンジンが冷えている時は、チョークつまみを左いっぱい(閉)にします。燃料コックは右いっぱい(ON)にします。



- 2** エンジンスイッチを「ON」にします。



- 3** リコイルスターターを重くなる所までゆっくり引き、そこからすばやく引張ります。エンジンがかかったらグリップをゆっくり戻します。



⚠️ 注意

- ・リコイルスターターロープをロープの長さ以上引出さないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- ・運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。

- 4** エンジンを始動後暖気運転を行い、運転状況を確認します。

- 5** チョークつまみを使用した場合は、チョークつまみを右(開)に戻します。



👉 エンジンがかからない時

まず、燃料が入っているかご確認ください。上記確認してもかからない場合は、点火プラグが燃料で濡れている可能性があります。下記をお試しください。

1. 点火プラグキャップを取外す。
2. 点火プラグを取外す。
3. リコイルスターターを数回引きシリンダ内を換気する。
4. 点火プラグを取付ける。
5. 点火プラグキャップを取付ける。
6. チョークつまみを右(開)にする。
7. 燃料コックを「ON」にする。
8. エンジンスイッチ「ON」にする。
9. リコイルスターターを軽く引き、重く感じたところで一旦止め、ハンドルを一度戻してから、素早く引くとエンジンがかかります。

エンジンの止め方

■ HG-DGPW1908 の場合

- 1** エンジンスイッチを「OFF (○)」にします。



■ HG-DGPW2109 の場合

- 1** エンジンスイッチを「OFF」にします。



使用方法

警告



禁止

- ・トリガーを引くと、高圧の水が勢いよく噴射されます。絶対に、人や動物に向けて、噴射しないでください。
- ・トリガーを引いたまま、固定しないでください。不意に高圧の水が噴射される場合があります危険です。
- ・ガラスや粉碎されやすい物に向けて噴射しないでください。粉碎され、飛び散る恐れがあり、非常に危険です。
- ・ノズルチップをのぞき込まないでください。

注意



禁止

- ・本機は、清水を高圧で噴射させることを目的に作られています。他の用途での使用は想定されていません。絶対に、目的外では使用しないでください。
- ・水以外は吸水しないでください。
- ・泥水の吸水はしないでください。



指示

- ・ホースやノズルチップは必ずしっかり固定してください。噴き出す水の勢いで外れると大変危険です。
- ・エンジン始動中は、5分以上噴射を停止しないでください。
- ・目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。

①噴射の準備

警告

ホースの接続を確実に行わないと、使用中に外れ大変危険です。

- 1 ホースが確実に接続されているか確認します。(組立て「高圧ホースの取付け」参照)
- 2 エンジンオイル、燃料が入っているか確認します。(運転前の点検「エンジンオイルの給油」、「燃料の給油」参照)

②噴射のテスト

警告

トリガーをロックしていないと、不意にノズルチップから噴射する恐れがあり、大変危険です。

- 1 トリガーの赤いレバーを起し、ハンドルの溝に先端を入れロックします。



- 2 事前に市販の蛇口側コネクター式(ワンタッチコネクター・蛇口ニップル)をご用意し、蛇口に取付けます。



- 3 エンジンを始動します。(運転操作の仕方「エンジンのかけ方」参照)

- 4 蛇口を開け、接続部から水漏れがないか確認し、ポンプ内、ホース内を水で満たします。

- 5 ノズル先端にはノズルチップをこの段階では取付けません。レバーのロックを解除します。



- 6 ガンの中間部とグリップをしっかり握ります。(トリガーはまだ引かないでください)



- 7 ノズルを対象物に向けトリガーを引くと高圧水が噴射されることを確認します。



- 8 エンジンを一旦停止します。

水が出ない場合

1 吸水ホース内に空気が入っている場合は、空気が排出されるまで高圧水が出ません。その場合はガンをしっかりホールドし、トリガーを握ったり、放したりを繰り返してください。

2 ノブが緩んでいないかご確認ください。スパナで固定しながらノブを締付けます。



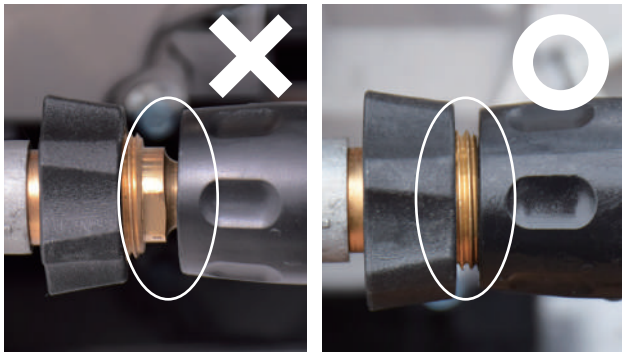
3 金網フィルタの詰まり、パッキンの変形・劣化がないかご確認ください。



※定期的にお掃除をしてください

⚠️注意

吸水ホースをしっかり挿込まないと、隙間から空気が入り込み高圧水が出ません。



③作業開始

⚠️警告

- ・ノズルチップの取付け、交換は、必ずエンジンを停止してから、ガンのトリガーを引いて圧力を抜いてから行ってください。
- ・ノズルチップは奥までしっかり挿込み、確実にロックしてください。取付けが不十分な場合、ノズルチップが吹き飛び大変危険です。

1 洗浄する場所に合わせたノズルチップを取付けます。(取付け、ノズルチップ用途目安は組立て「ノズルチップの取付け」参照)



2 エンジンを再始動します。その際、一旦トリガーを握り、圧力を抜いてからリコイルを引きます。

3 ガンを両手でしっかり握り、ノズルを対象物に向け、トリガーを引き噴射します。



容器から吸水する場合

⚠️注意

吸水する水は、清水を使用してください。川の水や泥・砂が混入している水は使用しないでください。故障の原因になります。

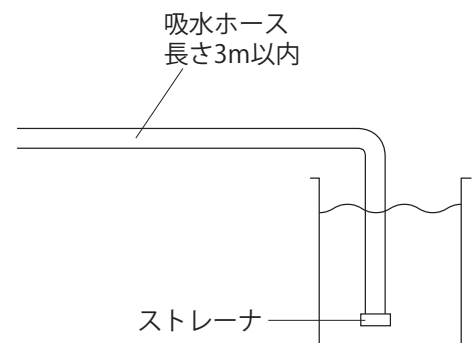
1 「②噴射のテスト」の手順を行い、ポンプ内を水で満たします。これが呼び水になります。呼び水をする事で水を吸い込みやすくします。

2 更に吸水ホースからストレーナを取外し呼び水を入れ、ホース内を水で満たします。



3 ストレーナを吸水ホースに取付けます。

4 水タンク等に清水を 50cm 以上貯め、ストレーナを沈めます。



5 吸水ホース(サクションホース)先端のストレーナが水中にあることを確認します。

※水面からポンプまでの高さは 2m 以内でご使用ください。

6 手順「③作業開始」を行います。

作業の中断・停止

- 1 噴射を中断する場合は、5分を超えないようにします。超える場合は、エンジンを一旦停止してください。
- 2 HG-DGPW1908 はエンジンスイッチを「OFF (○)」側に長押しします。HG-DGPW2109 はエンジンスイッチを「OFF」にします。

- 3 トリガーを引き、ホース内の水を逃します。この時、水圧が高くなっているので人や物に向けてください。



- 4 トリガーをロックします。



⚠警告

- ・トリガーを引いたまま、固定しないでください。不意に高圧の水が噴射される場合があります。危険です。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますのでご注意ください。

⚠注意

- ・エンジン始動中は、5分以上噴射を停止しないでください。ポンプやホースの破損の原因になります。
- ・エンジン始動中は、高圧ホース・吸水ホースを外さないでください。

再始動する場合

リコイルスターターが重く感じられ数度引いてもエンジンがかからない場合は、トリガーを引いて水を排出してから行ってください。

⚠注意

トリガーを引いて、ホース内の水を逃さずに始動させると、水圧の影響によりリコイルスターターが重くなります。その状態でリコイルスターターを無理に引くと、ポンプやリコイルの故障の原因になります。

洗剤を使用する場合

- 1 洗剤タンクのキャップを開け、中性洗剤を注ぎます。(タンク容量 1.8L)



- 2 洗剤専用の黒いノズルチップ(低圧ノズルチップ)を噴霧管先端に取り付けます。
※エンジンを停止した状態で行ってください。



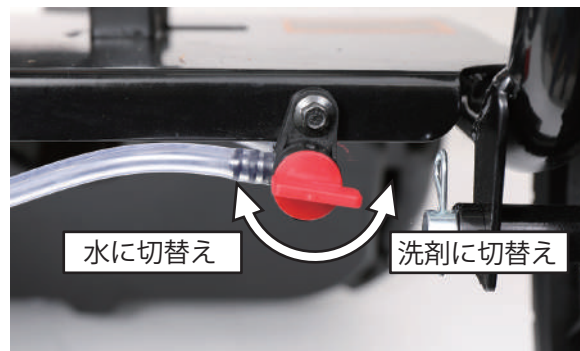
⚠注意

- ・洗剤専用の黒いノズル以外は、取付けしないでください。他のノズルでは、洗剤を吸い上げることができません。
- ・洗剤を使用する場合は、延長ホースは使用できません。

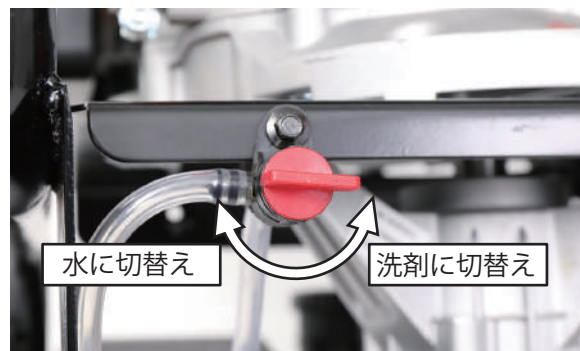
- 3 通常の洗浄と同じ要領で吸水(給水)し、エンジンを始動します。

- 4 コックを回して、水から洗剤に切替えます。

■ HG-DGPW1908 の場合



■ HG-DGPW2109 の場合



⚠️ 注意

コックを強く回したり、回らない方向に無理に回さないでください。破損の原因になります。

5 ガンのトリガーのロックを解除します。

6 ガンを両手でしっかり握り、ノズルを対象物に向け、トリガーを引きます。洗剤を吸い上げながら水と混合し噴射されます。



7 終了後はエンジンを停止します。

8 ガンのトリガーを引き、ホース内の洗剤・水を逃します。また、トリガーをロックします。

9 適宜ブラシ等で対象物の汚れを落とします。

10 用途に合った洗浄用ノズルチップに交換し、再始動させ、洗剤、汚れを除去します。

ノズルチップ



このとき、洗剤タンクに洗剤が残っていると洗剤が出続けます。洗剤を使い切るか、洗剤ホースを外して洗い流してください。



写真は HG-DGPW2109

⚠️ 警告

- ・ノズルチップの取付け、交換は、ガンの水圧を抜き、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・ノズルチップは奥までしっかり挿込み、確実にロックしてください。取付けが不十分な場合、ノズルチップが吹き飛び大変危険です。

作業終了後

⚠️ 注意

- ・ポンプ内、高圧ホース内の残留圧力を必ず抜いてから高圧ホースを外してください。無理に外すと思わぬ事故に繋がります。
- ・寒い時期にホース内に水を残したまま屋外に放置すると、内部の水が凍結し使用できないだけでなくホースの破損に繋がります。

1 エンジンを停止後、蛇口から給水している場合は止めます。

2 ガンのトリガーを引いて、ポンプ内、高圧ホース内の残留圧力を抜きます。

3 ガンのトリガーをロックします。



4 ノズルチップを取外しノズル穴をのぞき込み、穴が通じているかを確認します。詰まっている場合は清掃を行います。(web 取説の点検・整備の仕方「ノズルチップの点検」参照)

5 ノズルチップを所定の位置に戻します。



6 ストレーナをご使用の場合は、ホースより取外し、汚れ異物を取除き、風通しのよい日陰で乾燥させ保管します。

7 ホースを取外し、内部の水をできるだけ取除きホースホルダに収納して保管します。

圧抜弁について

ホースやポンプ内に空気が入り異常圧力になった場合、圧抜弁より水や空気が出ることがありますが故障ではありません。(写真はHG-DGPW2109)



本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますので安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1)純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2)保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3)一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4)取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5)示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6)弊社が認めていない改造をされたもの
- (7)地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8)注意を怠った結果に起きたもの
- (9)薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10)使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11)機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12)弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13)使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープイン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14)保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15)商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺い、手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。